

**木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨**

<b>会議名</b>	第 42 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
<b>日 時</b>	平成 30 年 10 月 26 日 (金) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 40 分	<b>場 所</b>	木津川市役所 5 階 全員協議会室
<b>出席者</b>  (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<b>【学識経験者】</b> ■中川 大 (副会長)、 ■大庭 哲治委員 <b>【市民代表】</b> ■杉本 美保委員、 ■長野 博行委員、 ■福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 ■行衛 満委員、 □中島 英一委員 <b>【事業者】</b> ■梅澤 浩二委員 ※代理：伊藤 毅 (西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課主査)、 □森本 治実委員、 ■山野 豊委員 ※代理：木村 一郎 (奈良交通株式会社乗合事業部統括課長)、 ■津田 秀夫委員 ■坪倉 啓三委員、 ■大江 正泰委員、 □梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■霜永 勝一委員 ※代理：牧田 佑一 (奈良交通労働組合財政部長)、 <b>【行政機関】</b> ■岩崎 靖彦委員 ■永見 晃之委員 ※代理：平川 裕一 (国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所建設専門官)、 ■岩田 高明委員、 ■山本 克委員、 ■梅田 学委員 ※代理：馬庭 清 (木津警察署 交通総務係長) □河井 規子会長、 □田中 達男委員、 □若狭 朝明委員	
	その他	<b>【オブザーバー】</b> □安江 亮	
<b>事務局</b>	福島政策監、武田事務局長、奥田事務局次長、日比主任、宮本主任		
<b>傍聴者</b>	1 人		
<b>議 題</b>	1. 開会  2. 議事 (1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料 1】  (2) 協議事項 ①公共交通の利用促進に係る標語の募集結果及び選考について【資料 3】 ②バス停のネーミングライツ実施について【資料 2】 ※標語集計の都合上、協議事項の順番を変更  (3) その他 ①次回協議会の開催日程について ②その他  3. 閉会		

<p style="text-align: center;"><b>会議結果要旨</b></p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。 奈良交通株式会社より参画の後藤委員に代わり、同社自動車事業本部乗合事業部統括部長 山野 豊 氏が新たに委員として参画した旨を報告した。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として長野委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項 ①公共交通の利用促進に係る標語の募集結果及び選考について 資料3に基づき、事務局から提案があり、承認した。 承認後、委員による審査を実施し、入賞作品を決定した。</p> <p>○入賞作品 【資料3】公共交通の利用促進に係る標語の募集結果及び選考について（P 3～4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会長賞 作品番号 35</li> <li>・副会長賞 作品番号 25</li> <li>・優秀賞 作品番号 3、15、16、20、24、27、28、39、44、47</li> </ul> <p>②バス停のネーミングライツ実施について 資料2に基づき、事務局から提案があり、採決の結果、実施を承認した。</p> <p>(3) その他 ①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>5. 閉会</p>
<p style="text-align: center;"><b>会議経過要旨</b></p> <p>◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 【主な意見・質疑等】 ○：資料どおりの説明だけを行うのではなく、分析結果や今後の方向性を付け加えて報告してほしい。 ◎：説明時には、主な数値や注目すべき数値をあげることが必要である。利用者減の主な要因は自然災害であったということだが、その他の要因についても分析すべきである。また、具体的なバスの運休等があった場合は、一覧にして資料提供をお願いし</p>

たい。なお、自然災害以外の利用者減の要因は把握しているのか。

→：コミュニティバスは前年度数値で1日平均716人の利用があった。バス運休は利用者数に大きな影響が出るため、今回の利用者減の主な要因については、自然災害だと分析している。また、自家用車による家族送迎の増加も要因の1つと考えており、引き続き、公共交通を利用いただくよう利用促進を図っていききたい。

○：分析結果を口頭ではなく、文書で示してほしい。

→：事前に把握している要因等については、資料送付時に追加するよう見直していく。

○：資料を確認すると、9月に大幅に利用者が減少していることがわかる。台風の影響により、どの程度の期間バスが運休になったのかをあわせて説明することも必要。また、9月の利用者減に関し、10月以降どのようにリカバリーや利用促進を進めていくのか。

→：きづがわアートなどの観光PR、今回の協議事項であるネーミングライツや公共交通標語の掲示、また、地域でのワークショップを通じた利用促進に努め、リカバリーを目指していく。

◎：日別の前年度数値との対比表を作成すれば、影響のあった日の分析がスムーズになる。自然災害といったやむを得ない事情はあるが、10月以降も利用促進に向け更なる協議を進めたい。

## (2) 協議事項

### ① 公共交通の利用促進に係る標語の募集結果及び選考について

#### 【配布資料】資料3 公共交通の利用促進に係る標語の募集結果及び選考について

#### 【主な意見・質疑等】

○：事業に係る経費を資料として提出し、議論することを要望したい。

→：協議会は事前に承認した予算により事業を実施しており、決算報告の際に事業に係る経費を報告している。そのため、事務局としては個々の事業経費について、協議会の場で議論いただく必要はないと考えている。

○：①資料の文字フォントを大きくしてほしい。

○：②選考作品を49点とした理由は。また、応募児童への記念品である1日フリー券はどういった趣旨・意図で贈るのか。鉛筆・ボールペン等に入賞作品の名入れして贈った方が喜ばれ、公共交通の利用を広めることが出来るのではないかと。

→：①資料のフォントについては事務局の配慮が不足していた。今後は見やすいフォント（12ポイントを基本として）で資料を作成する。

→：②作品数が49点となった理由は、全作品から教諭や事務局等で事前に作品数を決めずに選考した結果である。記念品については、名入れの文房具も検討したが、数少ない発注では単価が上がり、経費が問題となった。今回の標語募集において公共交通の意識付けができたため、このタイミングで児童に対し子供用の1日フリー乗車券を贈呈することにより、家族での利用を促すことができるため、記念品を1日フリー乗車券とさせていただいた。

○：今回の標語は小学生から一般まで広く募集しているため、作品の仕上がりに差があったか分からないが、事務局選考の49点は一般の方の割合が多くなっている。小・中学生のみで審査を行い、一般の方は除外してもよかったのでは。

→：作品応募者の年齢を熟慮いただき、評価してほしい。

○：応募要領には応募者に記念品を贈呈すると記載がなかったが、小・中学生だけに

配布して一般の方に配布しないのは理由がつかないのでは。

→：資料には「一般応募者への記念品はなし」と記載しているが、一般応募者に対しても記念品である1日フリー乗車券を配布する方向で検討している。

◎：一般の方にも記念品として1日フリー乗車券を配布することを加えて、事業を進めていくことでよろしいか。

【異議がなく、事業内容を承認】

## ②バス停のネーミングライツ実施について

【配布資料】資料2 バス停のネーミングライツ実施について

【主な意見・質疑等】

○：ネーミングライツの趣旨は。市内中小企業の振興も含まれているのか。

→：広告掲載料を支払ってもらうことによる新たな財源の確保や、応募企業の宣伝や名称の周知、地域社会貢献によるイメージアップによる企業振興につなげたいと考えている。

○：バス停名の変更は掲載料で賄えるとのことだが、車内アナウンスはどうするのか。

→：自動アナウンス機能がついているきのつバス、かもバス当尾線については、アナウンスの変更費用を含めた掲載料としており、主名称の後に〇〇前とした副名称のアナウンスを追加する。

○：新たな経費を必要とせず、非常に良い取り組みだと感じている。私自身も数年前に時刻表の広告について提案させていただいたが、その際は応募がなく実施されなかった。ネーミングライツの実施に伴い、時刻表の広告についても継続して募集してほしい。

→：ネーミングライツを呼び水にして、時刻表や公共交通だよりの広告収入に取り組んでいき、バスの運行財源の確保に努めてまいりたい。

○：応募企業数の見込みは。

→：打診まではしていないが、一定のご理解はいただけるのではないかと考えている。ただ、掲載料を負担いただくものであるため、実際に実施してみないと分からない。市内の立地企業の懇談会や商工会を通じてPRをしていきたい。

○：募集のスケジュールは。また、積極的に企業等への呼びかけは行うのか。

→：協議会での承認後、11月から12月にかけて募集し、審査を経て事業者等を決定。来年3月のダイヤ改正にあわせ、バス停名の表示変更を実施する予定である。また、企業説明会等の場に赴き、ネーミングライツの募集を募っていく。

○：木津川台の企業や同志社国際学院への声掛けは。

→：市内立地企業懇談会の中で、企業だけでなく同志社国際学院にも説明を行う予定である。時間的な都合もあるが、公共交通だよりへの掲載はもちろんのこと、PRチラシを作成し、商工会に対し、配布依頼を行うことも検討しており、それにより市内企業を網羅できると考えている。

○：地方公共団体が企業等への営業行為に加担することについて問題はなかったのか。

→：すでに木津川市において有料広告基準を定めて実施しており、企業の宣伝に留まらず、企業振興としての観点があり、行財政改革を進める上で有料広告を取るとした時代の流れとしても考えており、庁内では大きな議論はなかった。

○：路線ごとに区分しているが、きのつバス、やましろバスが合流する木津駅はどういった取扱いになるのか。

	<p>→：掲載料が高額なきのつバスの取扱いを優先する予定である。</p> <p>○：こうした特異事項は要領等に記載するべきである。</p> <p>→：要領に追加する。木津駅は商店が多いこともあり、十分に配慮した上で募集していきたいと考えている。</p> <p>○：かもバスの中で当尾線だけ取扱いが異なるが、観光路線であり、利用者に市内の事業所を周知するためなのか。</p> <p>→：車内アナウンス実施路線であるため、アナウンス変更費用分を高めに設定している。</p> <p>○：十分な協議がなく、事業を進めることに疑問を投げかけたい。</p> <p>◎：反対又は再提案の意見があがっていると解釈してよろしいか。</p> <p>○：具体的にどこが問題なのか。</p> <p>○：こうした形で財源を確保することである。可能かどうか検討して実施するべきである。次回に持ち越すべきでは。</p> <p>○：ネーミングライツの目的や、木津川市の財政を補填する面でも良い提案であると考えている。速やかに実施してほしい。</p> <p>○：実施については賛成だが、応募数が未知数であり、実施にあたり市の営業努力が必要である。</p> <p>○：応募募集には足を運んで直接依頼することが重要である。</p> <p>◎：ネーミングライツ実施時は積極的に努力すべきである。</p> <p><b>【委員による採決を実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に賛成19名、実施に反対0名、次回再提案1名</li> <li>・賛成多数により実施を承認</li> </ul> <p><b>(3) その他</b></p> <p><b>①次回協議会の日程について</b>      来年1月中を目途に事務局で調整し、改めて通知させていただく。</p> <p><b>②その他</b></p> <p>○：第41回議事録の内容が発言趣旨と異なっているため、訂正をお願いしたい。議事録3ページに「加茂駅から木津駅まで移動し、きのつバスに乗り換える際～」と記載があるが、正しくは「高の原から木津駅へきのつバスで移動し、関西本線に乗り換える際に～」である。</p> <p>→：お詫びし、訂正する。</p> <p>○：きのつバスの乗車時に、運転手のすばらしい対応があったことを報告したい。こうした市民からのコメントや意見を公共交通だよりへ掲載できないか。</p> <p>→：検討する。</p> <p><b>3. 閉 会</b></p> <p>以上。</p>
<p><b>そ の 他 特 記 事 項</b></p>	<p>なし。</p>